講義名	スポーツ科学演習Ａ（テニス/レクリエーション）				
科目区分	健康スポーツ科学				
担当教員	西畑　賢治				
開講期・曜日・時限	後期 火曜日 ２時限		授業形態		
	2020年度 人間社会学部 人間健康学科／2020年度 人間社会学部 観光学科／2020年度 人間社会学部 人間社会学科／ 2020年度 経済学部 経済情報学科／2020年度 経済学部 経済学科／2020年度 商学部 マーケティング学科／ 2020年度 商学部 経営学科／2019年度 人間社会学部 人間健康学科 スポーツマネジメントコース／2019年度 人				
履修開始年次	１年生	単位数	2	備考	

主題と概要

大学におけるスポーツ教育の目標は、自己のライフステージや心身の状態に適した身体運動やスポーツを生活の中に積極的に取り入れ、人々との交流を通じて、豊かなライフスタイルを形成できる能力を身に付けることにある。したがって、生涯にわたる身体運動・スポーツ活動を通じてすべての人々が豊かに生きることと、自己を表現できることを目標としたものである。各自がライフステージに対応した自己開発や自己表現がなされること。そして、身体運動・スポーツをすることが自己目的化されることを目標としている。
普段運動をしていない人から、スポーツを真剣に楽しみたい人まで、誰もが行えるスポーツを複数種目行う。

到達目標

1．「健康」獲得の方法を体得できるようになる。
2．歴史やルール、基礎技術等を理解し、生涯にわたるスポーツ実践の礎とすることができるようになる。

提出課題

授業中に適宜指示をする。

課題（レポートや小テスト等）に対するフィードバック

テニスにおけるフォームチェック、ルールの把握ゲームにおけるマナーは毎週の講義の中で常に確認を行うようにする。レクリエーションにおける各種目のルールやゲームの進め方については、各自予習をさせ講義中に確認するようにする。

評価の基準

※授業実施時間数の４回以上欠席した者は単位を認定しない。
※授業中の評価：受講態度など……80%
※中間期の評価：レポート課題……10%
※期末期の評価：レポート提出……10%

履修にあたっての注意・助言他

スポーツウェアーと運動靴（体育館で行うときは、体育館シューズ）を必ず準備すること。天候によって種目の変更も在りうる。また、適宜ビデオ等を使い、ゲーム戦略・戦術・ルール解説を行い、各々のスポーツへの理解を深めることを目指す。

教科書

プリント資料及び参考文献

授業計画

1. ガイダンス：15回で学ぶ内容について概略を説明し、成績評価の方法について詳細な説明を行う。シラバスを必携すること。
2. テニスの基礎知識と基本技術Ⅰ（ラケットの握り方・ボールの打ち方）
3. テニスの基礎知識と基本技術Ⅱ（ショートラリー・ロングラリー）
4. テニスの基礎知識と基本技術Ⅲ（サービス。ゲームの進め方）
5. テニスのゲーム（シングルス）
6. テニスのゲーム（シングルス）
7. テニスのゲーム（ダブルス）
8. テニスのゲーム（ダブルス）
9. レクリエーション　グラウンドゴルフ①　グラウンドゴルフのルールを理解する
10. レクリエーション　グラウンドゴルフ②グラウンドゴルフのゲームを行い楽しさを理解する
11. レクリエーション　フライングディスク①アルティメット競技のルールを理解する
12. レクリエーション　フライングディスク②アルティメットのゲームを行う
13. レクリエーション　キックベースボール①キックベースの基本的なルールを理解する
14. レクリエーション　キックベースボール②キックベースボールのゲームを行う
15. まとめ

授業形態（アクティブ・ラーニング）

	ア：PBL（課題解決型学習）
	イ：反転授業（知識習得の要素を授業外に済ませ、知識確認等の要素を教室で行う授業形態）
	ウ：ディスカッション、ディベート
	エ：グループワーク
	オ：プレゼンテーション
	カ：実習、フィールドワーク

準備学修（予習・復習等）の具体的な内容及びそれに必要な時間

シラバスを確認して実施種目の内容を本や映像などで予習しておくこと。授業終了後はフォームやスイングのチェックをして復習しておくこと。
競技特性やルールの確認も忘れずにしておくこと。240分

双方向授業の実施及びICTの活用に関する記述

実務経験の有無及び活用

備考